

令和 6年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：農村整備課
担当名：農村環境担当
内線：4348
(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P63	水辺周辺活用事業(農業用水)			一般会計	農林水産業費	農地費	土地改良費	水辺周辺活用事業費		
事業期間	令和 3年度～令和 7年度	根拠法令	なし			針路分野施策	10 豊かな自然と共生する社会の実現 1002 恵み豊かな川との共生	SDGsゴール SDGsターゲット	2, 6, 11 2-4, 6-6, 11-a	
1 事業概要 平成20年から進めている川の再生の取組により、川が地域の資産として認識された。そこで、更なる水辺空間の利活用を推進するため、地方創生を図る市町村と連携し水辺拠点の整備、水辺再生箇所の整備を行う。 ア 事業費 事業計画の見直しによる減額 △1,400千円 イ 事務費 事業量の減少に伴う減額 △460千円				5 事業説明 (1) 事業内容 環境護岸や遊歩道等の整備、事業主体(市町村)への補助金 430,870千円 (2) 事業計画 ア 目標 水辺空間の整備・拡充を通じ、川の魅力を向上させるとともに、市町村主体の地域振興との連携を図り、更なる川の利活用を促進する。 イ 事業計画 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 5地区 6地区 6地区 6地区 5地区 (3) 事業効果 県民ムーブメントとなった「川の再生」の機運を絶やさぬよう川の利活用を推進することにより、名実ともに「川の国埼玉」を実現する。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 地元自治体や地域活動団体、施設管理者等、地元市町村とともに整備計画や維持管理、利活用について検討。 (5) 補正予算の概要 事業計画の見直し等による減額。						
2 事業主体及び負担区分 ア (県10/10), (県1/2)市町村1/2, (県3/4、市町村・改良区1/4) イ (県10/10), (県3/4、市町村・改良区1/4)										
3 地方財政措置の状況 地域活性化事業債 充当率90%										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1人=9,500千円										
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額	
		分担金・負担金	県 債							
決定額	△1,860	△1,445	△1,000					585	430,870	
現計額	432,730	42,525	390,000					205		

事業内訳書

事業名	水辺周辺活用事業（農業用水）		
単位事業名	水辺周辺活用事業推進費（農業用水）（県単）	予算額	△ 1,400千円

○歳入

（単位：千円）

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
分担金及び負担金・ 農地費分担金	△25	—	水辺周辺活用事業費分担金 事業費の1/4 荒川右岸用排水土地改良区から
分担金及び負担金・ 農地費負担金	△1,420	—	水辺周辺活用事業費負担金 事業費の1/4 加須市から
県債・ 農林水産業債	△1,000	—	県単独農業基盤整備事業債
一般財源	1,045	—	
合計	△1,400	—	

○歳出

（単位：千円）

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	△400	—	水辺周辺活用事業推進費に係る委託料の減
補償、補填及び賠償金	△1,000	—	水辺周辺活用事業推進費に係る補償費の減

単位事業名	水辺周辺活用事業推進費（農業用水）（県単）	予算額	△ 1,400千円
-------	-----------------------	-----	-----------

（単位：千円）

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
合計	△1,400	—	

単位事業名	事務費（水辺周辺活用事業（農業用水））	予算額	△ 460千円
-------	---------------------	-----	---------

○歳入（単位：千円）

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△460	—	
合計	△460	—	

○歳出（単位：千円）

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△16	—	水辺周辺活用事業推進費に係る旅費等の減
需用費	△431	—	水辺周辺活用事業推進費に係る消耗品費等の減
役務費	△13	—	水辺周辺活用事業推進費に係る通信運搬費等の減
合計	△460	—	